

Title	研究・教育活動業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター
Publication year	2016
Jtitle	慶應義塾大学DMC紀要 (DMC Review Keio University). Vol.3, No.1 (2016. 3) ,p.66- 71
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	記録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO32002001-00000003-0066

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

記録

研究・教育活動業績

(2015 年 1 月～12 月)

凡例＝本記録は研究員による研究・教育活動の業績一覧であり、研究員の投稿にもとづくものである。1. 著書・訳書、2. 論文、3. 学会発表、4. 講演・展覧会・ワークショップ等、5. その他。

松田隆美 (所長 研究員 文学部教授)

1. 著書、訳書

(編著書)『旅の書物 / 旅する書物』慶應義塾大学出版会、2015 年 9 月。pp. vii + 209 + 20 (「旅の書物 / 旅する書物—近代イギリスのイタリア旅行記とガイドブック」pp. 105-131、「前言」pp. iii-vii 執筆。)

2. 論文

「「近習の話」の中断—『カンタベリー物語』における驚異の幻滅」『チョーサーと英米文学：河崎征俊教授退職記念論文集』（金星堂、2015.3），pp. 44-59

“Text and illustration in the margin of late medieval manuscripts”, *Inmunkwahak: The Journal of the Humanities* (Institute of the Humanities, Yonsei University), 103(2015), 81-99

“Purgatory and Spiritual Healing in John Audelay's Poems”, in *Medicine, Religion and Gender in Medieval Culture*, ed. by Naoë Kukita Yoshikawa (Cambridge: D. S. Brewer, 2015), pp.123-37

「ヨーロッパ中世の俗語文学——チョーサー『カンタベリー物語』」明星聖子・納富信留編『テキストとは何か—編集文献学入門』（慶應義塾大学出版会、2015.10），pp. 81-104

「ヨーロッパ中世写本の挿絵に見る驚異」山中由里子編『〈驚異〉の文化史—中東とヨーロッパを中心に』（名古屋大学出版会、2015.11），pp. 169-83

3. 学会発表

「中英語のキリスト教教化文学の生成とフランス語文学」日本英文学会第 87 会大会シンポジウム「中世イングランド文学におけるフランス—文学圏の共有と差異化」（司会・講師）。2015 年 5 月 23 日。

立正大学。

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

(展示図録) 高橋智、徳永聡子、松田隆美『活字文化の真髄—日本の古活字版と西洋初期印刷本—』（第 27 回慶應義塾図書館貴重書展示会）（会期：丸善丸の内本店 4F ギャラリー，2015.10.7～10.13）

「暦、巡礼、corpus mysticum」日本中世英語英文学会第 31 回全国大会会長講演。2015 年 12 月 5 日。慶應義塾大学。

大川恵子 (副所長 メディアデザイン研究科教授)

1. 著書、訳書

鈴木二正、西山由真、芳賀高洋、大川恵子、村井純「小学校 1 年生におけるタブレット端末を活用した授業実践と評価」, 情報処理学会論文誌 教育とコンピュータ, Vol.1 No.4, pp21-37, Dec.2015

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

大川恵子「EBA におけるオンラインによる授業運営と課題」, (「海外の交流大学との共同教育プログラムにおける授業運営の効果的な枠組み（フレーム）に関する実証研究」, 北海道大学, 2015.1.27)

Keiko Okawa, Workshop Organizer on “Higher Education Collaboration in Asia” (The 9th International Conference on Genetic and Evolutionary Computing (ICGEC 2015), MICT Park, Yangon Myanmar, 2015.8.26)

Keiko Okawa, “SOI Asia Project”, (International Symposium on Double Degree Strategy 2015, KEIO Univ. 2016.10.19)

重野寛 (副所長 理工学部教授)

2. 論文

武田苑子, 梅田沙也華, 重野寛, “ピアの参加離脱を考慮したインセンティブベースのピース拡散手法”, 情報処理学会論文誌, Vol.56, No.2, pp.421-429, 2015 年 2 月

畠山翔, 森研太, 重野寛, “P2P ライブストリーミン

グにおける希少性と緊急性を考慮したチャンク選択手法”, 情報処理学会論文誌, Vol.56, No.2, pp.430-438, 2015 年 2 月

Kenta Mori, Sho Hatakeyama, Hiroshi Shigeno, “DCLA: Distributed Chunk Loss Avoidance Method for Cooperative Mobile Live Streaming,” The 29th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications (AINA-2015), pp.837-843, 24-27 March 2015.

Sayaka Umeda, Takashi Kamimoto, Yuri Ohata, Hiroshi Shigeno, “Interest Flow Control Method Based on User Reputation and Content Name Prefixes in Named Data Networking,” The 2015 IEEE International Symposium on Recent Advances of Trust, Security and Privacy in Computing and Communications (RATSP2015), pp.710-717, 20-22 August 2015.

Kenta Mori, Takashi Kamimoto, Hiroshi Shigeno, “Push-Based Traffic-Aware Cache Management in Named Data Networking,” The 18th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS2015), pp.309-316, 2-4 September 2015.

3. 学会発表

神本崇史, 梅田沙也華, 大畑百合, 重野寛, “プレフィックスの階層性に基づいた Cache Pollution Attack への対策の考察”, 第 163 回 DPS 研究会, Vol.2015-DPS-163, No.26, 8pages, 2015 年 5 月

梅田沙也華, 大畑百合, 神本崇史, 重野寛, “Named Data Networking におけるユーザの行動を考慮した Interest 制御手法の検討”, 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO 2015) シンポジウム, pp.650-657, 2015 年 7 月

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

森研太, 佐藤和也, 重野寛, “Named Data Networking におけるトラヒックの特徴に基づいたキャッシュ管理”, 第 16 回慶應科学技術展 (慶應テクノモール 2015), 2015 年 12 月

梅田沙也華, 神本崇史, 篠原涼希, 林田明子, 重野

寛, “Named Data Networking におけるトラヒックの特徴に基づいた Interest 制御”, 第 16 回慶應科学技術展 (慶應テクノモール 2015), 2015 年 12 月

斎藤英雄 (研究員 理工学部教授)

2. 論文

Sebastien Callier, Hideo Saito, Guillaume Moreau, Real Time Detection and Tracking of Printed Maps Based on Road Structure, ITE Transactions on Media Technology and Applications, Vol.3, No.1, pp.85-94, 2015.

3. 学会発表

Gautier Minster, Guillaume Moreau, Hideo Saito, Geolocation for Printed Maps Using Line Segment-Based SIFT-like Feature Matching, Proceedings of 2015 IEEE International Symposium on Mixed and Augmented Reality Workshops, Challenges and Applications of Urban Augmented Reality, pp.88-93, 2015, DOI 10.1109/ISMARW.2015.24.

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

General Chair, 14th IEEE International Symposium on Mixed and Augmented Reality (ISMAR2015), 福岡市, 2015 年 9 月 29 日~10 月 3 日

安藤広道 (研究員 文学部教授)

1. 著書・訳書等の刊行

『弥生土器 考古調査ハンドブック 12』ニューサイエンス社 (分担執筆:「コラム 弥生土器と弥生式土器」10・11 頁、「コラム 様式と型式—型式を使用する立場から—」12・13 頁、「関東」344-396 頁)

2. 論文

「久ヶ原・弥生町期の未来?」『列島東部における弥生後期の変革—久ヶ原・弥生町期の現在と未来—』考古学リーダー 24 六一書房 279-286 頁
「観音松古墳の研究 2—新発見の写真と図面からみた墳丘と主体部の形態と構造—」『史学』第 85 巻 第 1・2・3 号 三田史学会 335-378 頁

4. 講演、展覧会、ワークショップ等

「文学部創設 125 年記念企画展 語りだす南洋の造形 慶應大所蔵小嶺磯吉コレクション」三田キャンパス慶應義塾図書館展示室 開催期間 2015 年 1 月 9 日～2 月 7 日 (分担)

「歩いて、見て、考える、日吉の戦争遺跡」未来先導基金公募プログラム 2015 年度実験授業日吉学—Deep な日吉を語ろう— 第 2 回 5 月 23 日 慶應義塾大学教養研究センター

「楽しい考古学—日吉の遺跡と遺物の楽しみ方を考える」未来先導基金公募プログラム 2015 年度実験授業日吉学—Deep な日吉を語ろう— 第 4 回 10 月 17 日 慶應義塾大学教養研究センター

「文学部創設 125 年記念企画展 モノがたる文学部資料にみる人文学研究」三田キャンパス慶應義塾図書館展示室 開催期間 2015 年 12 月 2 日～12 月 18 日 (分担)

5. その他

公開シンポジウム『モノに響く声、モノが導く対話、人類学の想像』慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室 1 月 17 日 慶應義塾三田キャンパス G-SEC Lab

「日吉周辺の古墳出土の青銅鏡」『三田評論』2015・5 月号 (No.1189) 慶應義塾 49・50 頁

「インタビュー」『陸にあがった海軍—連合艦隊司令部日吉地下壕からみた太平洋戦争—』神奈川県立歴史博物館 86-88 頁

小菅隼人 (研究員 理工学部教授)

2. 論文

「クレオパトラの二つの身体」、『慶應義塾大学アート・センター／Booklet 23：アイドル♥ヒロインを探せ!』、23 号、慶應義塾大学アート・センター、82-103 頁、2015。

3. 学会発表

「PSi #21 Fluid States 2015 Tohoku の開催について」講演 日本演劇学会分科会西洋比較演劇研究会

(成城大学) 2015/04/11

「鈴木美穂く憑依のダイナミックス：演劇論としてのキャリアル・チャーチル『小鳥が口一杯』>」書評 『西洋比較演劇研究』Vol.14 合評会 日本演劇学会分科会西洋比較演劇研究会 (成城大学) 2015/05/16

「演劇と公共性オープニングセッション」講演 2015 年日本演劇学会全国大会 桜美林大学 2015/06/20

「演劇の公共性を考える」シンポジウム 2015 年日本演劇学会全国大会 桜美林大学 2015/06/21

“Hijikata Tatsumi's Butoh Body and the Hidden Power of Democracy”

FIRT/IFTR International Federation for Theatre Research 2015, Hyderabad, India
2015/07/08 University of Hyderabad

“Performances and the National Trauma: How Are Artists To Respond to Large-scale Disaster and Its Aftermath?”

PSi#21 Philippines:On Tilted Earth: Performance, Disaster, Resiliencein Archipelagic Space
2015/11/06 University of De La Salle University, Manila

“Closing Roundtable Discussion: Performance Studies: Encounters, Engagements and Encumbrances”

PSi#21 Philippines:On Tilted Earth: Performance, Disaster, Resiliencein Archipelagic Space
2015/11/08 University of Philippines Diliman

学会発表、「ライブ×メディア—演劇と映像の関係性をめぐって」日本演劇学会分科会西洋比較演劇研究会シンポジウム 2015/12/19、成城大学

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

「『ガラスの仮面』とアイドルをめぐって—美内すずえ氏に聞く」、『慶應義塾大学アート・センター／Booklet 23：アイドル♥ヒロインを探せ!』、23 号、慶應義塾大学アート・センター、104-26 頁、

2015/03/31

「大野慶人舞踏公演「花と鳥：内部と外部」」企画
慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会
(HAPP) 来往舎イベントテラス 2015/04/24

「ゲキ×シネの世界『髑髏城の七人』」 慶應義塾大
学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)
藤原洋記念ホール 2015/05/19

「劇団新感線とゲキ×シネの「ライブ性」をめぐる」
Artlet、第 44 号、2-6 頁、2015/09/30

5. その他

PSi #21 Fluid States 2015 Tohoku: Beyond
Contamination: Corporeality, Spirituality and
Pilgrimage in Northern Japan
2015/08/28-2015/09/01 青森県立美術館及び恐
山菩提寺

International Symposium on the Spirituality and
Performativity of Tōhoku「国際研究集会 東北の
精神性とパフォーマンス性」
2015/08/26- 慶應義塾大学三田キャンパス

金子晋丈（研究員 理工学部専任講師）

2. 論文

Oshani ERUNIKA, Kunitake KANEKO, Fumio
TERAOKA “Intra-AS Performance Analysis of
Distributed Mobility Management Schemes,” IEICE
Transactions on Information and Systems, vol.
E98-D, no. 8 pp. 1477-1492, August 2015.

3. 学会発表

新美祐介, 森 康祐, 金子晋丈, 寺岡文男 “列車用
インターネットシステムの最適設計に関する一検
討” 情報処理学会 第 78 回全国大会, 4U-01, 2016
年 3 月 11 日.

森康祐, 新美祐介, 金子晋丈, 寺岡文男, 春山真一
郎 “列車用赤外線通信システムにおける CMOS カメ
ラを用いたビーコン ID の検出” 情報処理学会 第 78
回全国大会, 4U-02, 2016 年 3 月 11 日.

渡邊大記, 金子晋丈, 寺岡文男 “新世代ネットワー
クアーキテクチャ ZNA におけるセッション層の試
作” 情報処理学会 第 78 回全国大会, 5R-05, 2016
年 3 月 11 日.

清水倫人, Jesu Petar Maglutac, 大竹 淳, 寺岡文男,
金子晋丈 “サービス指向アーキテクチャ HAMANA
におけるサービス毎にパケット処理するゲートウェ
イの設計と実装” 情報処理学会 第 78 回全国大会,
7S-01, 2016 年 3 月 12 日.

大竹 淳, 清水倫人, 寺岡文男, 金子晋丈 “サービ
ス指向アーキテクチャ HAMANA におけるクライア
ント API とテストアプリケーションの設計と実装”
情報処理学会 第 78 回全国大会, 7S-02, 2016 年 3
月 12 日.

近藤賢郎, Heryanto, 嶋村孔明, 金子晋丈, 寺岡
文男 “Clean-slate 階層型アーキテクチャにおける
Information Centric Networking の実現,” 電子情
報通信学会情報指向ネットワーク技術時限研究会
2015 年 5 月 12 日.

川口慎司, 大島涼太, 金子晋丈, 寺岡文男 “ネット
ワーク知識のオープンデータ化に向けたドメインオ
ントロロジー Bonsai の提案,” 人工知能学会研究会資
料 第 36 回セマンティックウェブとオントロジー研
究会, SIG-SWO-036-01, 2015 年 7 月 9 日

李侑美, 安藤大佑, 北村匡彦, 寺岡文男, 金子晋丈
“Content Espresso における伝送量削減のための冗
長データ選択送信方式,” 信学技報, vol. 115, no.
172, MoNA2015-10, pp. 13-18, 2015 年 8 月 4 日.

寺岡文男, ヘーヤントー, 近藤賢郎, 川口慎司, 大
島涼太, 金子晋丈 “ZNA: 新世代ネットワークのた
めの 6 階層ネットワークアーキテクチャ,” 信学技
報, vol. 115, no. 209, NS2015-74, pp. 21-21,
2015 年 9 月 3 日.

Jesu Petar Maglutac, Rinto Shimizu, Sunao
Otake, Fumio Teraoka, Kunitake Kaneko (Keio
Univ.) “Hamana: An Application-oriented Network
Architecture with Service-driven Programmable
Gateways,” 信学技報, vol. 115, no. 307, IA2015-

68, pp. 153-158, 2015 年 11 月 13 日 .

三上啓, 安藤大佑, 金子晋丈, 寺岡文男 “分散ストレージシステム Content Espresso におけるマルチドメイン認証認可基盤ヤマタノオロチを用いた認証認可の実現,” 信学技報, vol. 115, no. 370, IN2015-88, pp. 101-106, 2015 年 12 月 18 日 .

吉原秀人, 近藤賢郎, 金子晋丈, 寺岡文男 “階層型アーキテクチャに基づく ICN におけるライブ映像配信機構,” 電子情報通信学会情報指向ネットワーク技術時限研究会 2015 年 12 月 18 日 .

山岸拓郎, 佐野岳史, 安藤大佑, 寺岡文男, 金子晋丈 “分散ストレージシステム Content Espresso を用いたライブレンダリングを可能とする広域分散レンダリングシステムの設計と実装,” 信学技報, vol. 115, no. 370, IN2015-89, pp. 107-112, 2015 年 12 月 18 日 .

渡邊大記, 金子晋丈, 寺岡文男 “L5-path: 新世代ネットワークアーキテクチャ ZNA におけるセッション層プロトコル,” 信学技報, vol. 115, no. 482, IA2015-103, pp. 191-196, 2016 年 3 月 4 日 .

岩井聡一郎, 寺岡文男, 金子晋丈 “CatalogueSystem のグラフ構造およびユーザのアクセス履歴を用いたコンテンツの絞り込み提示機構,” 信学技報, vol. 115, no. 484, IN2015-144, pp. 211-216, 2016 年 3 月 4 日 .

Kunitake Kaneko, Daisuke Ando, Takuro Yamagishi, Takeshi Sano, Fumio Teraoka, “Content Espresso: Dispersed Storage for High-speed Network Access to Large-size Image Files” in Proceedings of the first International Conference on Advanced Imaging, Tokyo, June 2015, pp. 35-38.

Yamato Miyashita, Hiroyo Ishikawa, Fumio Teraoka, Kunitake Kaneko, “Catalogue: graph representation of file relations for a globally distributed environment” in Proceedings of the 30th Annual ACM Symposium on Applied Computing (SAC 2015), Salamanca, Spain, April 2015, pp. 806-809.

Ryota Ohshima, Shinji Kawaguchi, Osamu Kamatani, Osamu Akashi, Kunitake Kaneko, Fumio Teraoka “Construction of Routing Information Knowledgebase towards Wide Area Network Management,” in Proceedings of the 10th International Conference on Future Internet (CFI 2015), Seoul, Korea, June 2015, pp76-83.

Soichiro Iwai, Daisuke Ando, Takuro Yamagishi, Takeshi Sano, Fumio Teraoka, Kunitake Kaneko, “User Controlled Media Operations on Networks Using Content Espresso & Catalogue System” presented at CineGrid International Workshop 2015, San Diego, CA, December 2015.

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

小倉 毅, 清水 倫人, 北村 匡彦, 金子 晋丈, 君山 博之, 藤井竜也, “超分散分割保存された大容量コンテンツの即時配信システム～大容量コンテンツを超分散分割保存し即時配信する many-to-one 通信システム～,” NICT オープンハウス 2015, 小金井, 2015 年 10 月 22-23 日 .

金子晋丈, 寺岡文男, “豊かなデジタル社会を創るサービス指向ゲートウェイ,” 第 16 回慶應科学技術展, 東京, 2015 年 12 月 4 日 .

金子晋丈, 寺岡文男, “次世代メディアネットワーク,” 第 16 回慶應科学技術展, 東京, 2015 年 12 月 4 日 .

寺岡文男, 金子晋丈, “ZINK: 新世代ネットワークにおける情報指向ネットワーキング,” 第 16 回慶應科学技術展, 東京, 2015 年 12 月 4 日 .

寺岡文男, 金子晋丈, “オープンデータで創るネットワーク管理基盤,” 第 16 回慶應科学技術展, 東京, 2015 年 12 月 4 日 .

池田真弓 (研究員 理工学部専任講師)

1. 著書・訳書

(共著分担) Stijnman, Ad, and Elizabeth Savage, eds. Printing Colour 1400–1700: History, Techniques, Functions and Receptions. Vol. 41. Leiden: Brill, 2015. Print. Library of the Written World - The

Handpress World. xxx, 248 pp. ("Chapter 5: The Fust and Schöffler Office and the Printing of the Two- Colour Initials in the 1457 Mainz Psalter," pp. 65-75 担当).

2. 論文

池田真弓「ペーター・シェーファー出版『ラテン語本草』と『健康の庭』—15世紀印刷本草の挿絵分析—」『鹿島美術研究』、32号別冊、76-87頁。

3. 学会発表

Mayumi Ikeda, "Illustrating the *Gart der Gesundheit* of 1485," 50th International Congress on Medieval Studies (Session 550, "Imagery in Medieval Herbals"), Western Michigan University, Kalamazoo, 17 May 2015.

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

池田真弓「『健康の庭』—本草挿絵の諸問題について」明治学院大学文学部芸術学科・明治学院大学言語文化研究所・ドイツ語圏美術史研究連絡網 主催シンポジウム『創造・伝達・記憶の場としての版画』、明治学院大学、2015年12月5日。

石川尋代 (DMC 研究センター特任講師)

3. 学会発表

Yamato Miyashita, Hiroyo Ishikawa, Fumio Teraoka, and Kunitake Kaneko, "Catalogue: Graph Representation Of File Relations For A Globally Distributed Environment", Proceedings of the 30th Annual ACM Symposium on Applied Computing (SAC 2015), pp.806-809.

4. 講演・展覧会・ワークショップ等

石川尋代, "様々な記録を繋げる多面的アーカイヴ-MoSaICの試み-", 慶應義塾三田キャンパス 1951: ノグチ・ルームの誕生をめぐって 慶應義塾の建築プロジェクト シンポジウム, 2015年11月。

記録

活動実績

● 4月1日

大学学部入学式の収録・編集を実施

● 4月8日

"Fukuzawa Yukichi & Harvard University" の動画を公開

● 4月17日

情報の教養学「歴史の転換期と報道の使命」の収録・編集を実施

● 4月24日

平成27年度慶應義塾大学新入生歓迎行事 大野慶人舞踏公演「花と鳥〜内部と外部」収録・編集

● 5月13日

情報の教養学「脳を知り、脳を治す」の収録・編集を実施

● 6月5日

文学部創設125年記念「カズオ・イシグロが語る」の収録・編集を実施

● 6月6日

第24回 慶應義塾大学理工学部市民講座「ビッグデータ」の収録・編集を実施

● 6月13日

文学部公開講座「伝えるしごと・ことばのしごと」の収録・編集を実施

● 6月17日

情報の教養学「貧困を測る」の収録・編集を実施

● 6月20日

文学部125年記念講演会および祝賀会の収録・編集を実施

● 6月27日

第3回慶應マイボイスワークショップの収録・編集を実施